



白黒はっきり！  
報・連・相

たくお  
**いなば卓夫活動報告**  
**もったいない通信**

「いなば卓夫もったいない通信」で検索を 平成30年4月4日発行

もったいない（勿体無い）とは、仏教用語の「物体（もったい）」を否定する語で物の本来あるべき姿がなくなるのを惜しみ、嘆く気持ちを表している。環境保護活動家のケニアのワンガリ・マータイさんが世界に広めました

手作り新聞・発行人  
いなば卓夫を支援する会 ☎ 50-1380 (FAX も)  
〒321-1415 日光市萩垣面 2445-12



いま、みなさんが日光市の財政がもたないと大声をあげています。今こそ、知恵を出し合い、行政と議会のムダをなくしましょう。そして、福祉や教育・文化・スポーツに振り向け、活力ある日光を！

ご挨拶 いま地方議会で不祥事が頻発していますが、実はいちばん身近な地方議会が住民の生活に密着し大切なのです。もういちど庶民・市民の目線で日光市議会を見つめなおしてみませんか。いなば卓夫は市民のみなさまと「報告・連絡・相談」を通じて活気ある日光を創ります。みなさまのご理解をお願い申し上げます。

**いいのもがいっぱいある日光市を誰もが住みたい街にしたい。**

[市民生活安定化へ]

- 東武鉄道の区間快速の運行復活を。待合のベンチも撤去された。(星野仁十郎市長時代に快速が運行中止されたとき、仁十郎さんは東武鉄道本社に乗り込んで根津さんと直談判、復活させました)
- 一人暮らし、高齢者、しょうがい者福祉の充実 (この街からひとりも孤独死を出さない！)
- 観光・農林・商工業の振興く各地で外国人観光客が騒音等、問題を起こしている民泊は慎重に！)
- 市民生活に支障をきたしている世界文化遺産周辺の交通渋滞の解消。駐車場の増設・整備(消防車等緊急車両も動けない。家に帰れない、買い物に行けない、子供を迎えに行けない、宅急便・郵便が届かない)

[議会改革の提案・税金のムダ使いは許さない]

- 議員報酬日当制と市長退職金の廃止。●議会経費は年間3億、一期4年で12億。うち議員報酬7億2千万円。
- 福島県矢祭町は議員日当3万円で月給なし。●議会の通年開催と移動議会 ●旧市町村単位の住民協議会など市民の発言できる場の創設。●議員の活動報告の義務付け。●旧市町村の代表が出せる小選挙区制の導入。

**金がなければ知恵を出せ！ 行政・市政は知恵次第！**

福島県矢祭町の名称「もったいない図書館」。開館してたった11年で人口5,898人の町がお金もかけずに458,000冊の蔵書を誇っています。今市図書館170,000冊、日光図書館100,000冊、藤原図書館93,000冊、合計で363,000冊。一人当たり冊数は日光市4.36冊、矢祭町は77.6冊。貸し出し冊数も重要。

作曲家 船村徹先生との縁。稲葉卓夫の叔父、稲葉綱雄が提供したピアノで初のヒット曲「別れの一本杉は」作曲された。



稲葉卓夫の仲介で38年ぶりに涙の再会を果たす。中央が稲葉卓夫（東京九段にてご馳走になる）

下野新聞「船村徹、私の生きた刻」平成26年12月13日より抜粋  
「恩人はもう一人います。東京に帰った私にはピアノがありませんでした。巡業資金工面のため売り払っていたからです。「小さくてもいいからピアノが欲しい」私は渋谷の楽器店の前をうろうろしていました。その店の名前はイナバピアノ。社長の稲葉綱雄さんは西那須野町（現那須塩原市）出身でした。「お金がないんです」と言う私に「出世払いでいいから、好きなものを持って行きなさい」と快くピアノを譲ってくれました。こうした恩は忘れられないものです。(のちに叔父に聞いたところ、西那須野町から東京に出て丁稚奉公。やっと開いたピアノ屋。苦しい時代だったと。栃木なまりなので出身を聞くと「栃木県の船生です」と。同郷の青年の苦労を思い、頑張りに期待したそうです。卓)

略歴●昭和25年渋谷生まれ●慶大法学部政治学科卒●衆議院議員 渡辺美智雄秘書、参議院議員 国井正幸秘書●レディオベリー営業課長●NPO法人森びとプロジェクト委員会理事(昨年はフィリピン・ルボ村の植林指導に参加)